

月刊 やちまなこ

2023. 3.15 発行

No.304

3月号

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



氷丘〔御神渡り〕

3月に入り、陽当たりの良い斜面ではキタミフクジュソウが花を咲かせた。草地には越冬明けの虫を啄ばむツグミたちの姿を見かけるようになり、釧路湿原も厳冬を終えて、そろそろ春を迎える準備に入ったようだ。

暖かい春を待つ気持ちとは裏腹に、ワカサギ釣りの光景や氷の造形との決別には、少し寂しい気持ちになるもの。

そんな中、湖上の観察イベントを終えたスタッフから、思いもよらない自然情報がもたらされた。

4季連続で確認されていないとされていた「御神渡り」。そう呼ぶにはちょっと規模が小さいかも知れないが、紛れもなく神様が渡った跡のようである。近年のコロナ禍で忙しいから、足早に立ち寄って行かれたのだろうか。



塘路フィールドノート【2/15～3/14】

【野鳥】

解氷



オオヒシクイ（シラルトロ湖）

秋とは逆に北方へ旅立つ季節。湖に立ち寄り羽根を休めていた。カモ科



ミコアイサ（コッタロ湿原）

雄は体が白く目の周りがパンダのように黒い。番いでいることが多い。カモ科。



ヤマゲラ（シラルトロ湖）

釧路湿原では比較的珍しいキツツキ。綺麗なウグイス色の羽根が特徴。キツツキ科。



ホオジロガモ（二本松橋）

人影に敏感。「フィフィフィ」という警戒鳴きをしながら飛び去る。カモ科。



マヒワ（塘路湖畔）

群れでカラマツの実を食べていた。オスは綺麗な黄色をしている、アトリ科。



ツグミ（塘路湖畔）

3月に入ってよく見かけるようになった。雪解けの進む草地で虫を探す。ツグミ科。

◎塘路湖の氷上ハイクを楽しみました

3月4日(土)は、春が近づいている塘路湖の氷上で、観察会を実施しました。青空の下、結氷した塘路湖畔に下りて、スノーシューを装着して出発。

湖の東北東の対岸を目指し、横長の塘路湖の広さを体感しながら、飛翔する猛禽類を観察しました。スタートして30分しないうちにオオワシの旋回やオジロワシの直線的な横切り、オジロワシのペアが旋回する姿などを観察でき、ワシ類が参加者にサービスしているのかと勘違いするほどでした。

対岸の遺跡があった場所で折り返し、エコミュージアムセンターへ戻る途中には、塘路駅発のSL冬の湿原号が、煙を出しながら走る姿が遠くに見え、参加者の眼を楽しませてくれました。

気温-3℃、快晴、微風 参加者 9名



スノーハイク



オオワシの飛翔



冬のSL湿原号

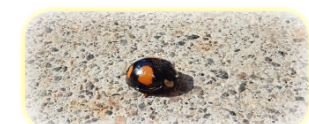
◎もうすぐ春ですね。

3月に入りめっきり暖かい日が続いています。このまま春到来となるのでしょうか？そんな陽気に誘われて、塘路湖エコミュージアムセンターの周辺では、ひっそりと春の兆しが確認されています。

陽当たりの良い山肌に、フキノトウやキタミフクジュソウの花が、既に確認されています。窓の下には越冬から覚めたシータテハチョウが舞い、暖かい日の玄関周りには、テントウムシたちがすでに活動を始めています。春はもうすぐそこまで来ているのかも知れませんね。



キタミフクジュソウ



ナミテントウ

【開館時間変更のお知らせ】

4月1日(土)よりセンターの開館時間が下記のとおり変更となります。

○10:00～16:00 → **10:00～17:00** (10月31日まで)

4月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

早春の湿原 野鳥観察会

[日 時] 4月22日(土) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] シラルトロ湖畔・蝶の森(集合はシラルトロ自然情報館駐車場)

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

春の足音を聴きに行こう

[日 時] 4月9日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 15名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで
(0154-65-2323)

令和5年度 自然ふれあい行事予定表

●早春の湿原 野鳥観察会

4月22日(土) 10時～12時 定員15名
早春の釧路湿原に生息する野鳥を散策しながら観察します。

●しべちゃの宿場ネットワーク 駅通所の時代

4月29日(土)～5月7日(日) かつて標茶町内にあった「駅通所」を取り上げ、当時の人々にとって、駅通所がどのような存在であったのかなどについて展示します。(標茶町博物館との共催行事)

●春の展望台散策会

5月20日(土) 10時～12時 定員15名
サルボ・サルルン展望台周辺を散策しながら、飛来し始めた夏鳥や春の植物を観察します。

●新緑の湿原 野鳥観察会

6月10日(土) 8時～10時 定員15名
夏鳥が勢揃いしたフィールドで、繁殖期の野鳥の姿とさえずりの特徴を教わりながら散策します。

●縄文土器作り講座

7月8日(土) 10時～14時 定員15名
塘路周辺には縄文時代の遺跡があり、実際に出土した土器を参考に作る講座です。

●夏の湖畔散策会

7月15日(土) 10時～12時 定員15名
色とりどりの夏の花や昆虫などを観察し、色彩豊かな夏の塘路湖畔を楽しみます。

●夏休み 釧路湿原キノコ観察会

8月5日(土) 10時～12時 定員15名
森の中を散策しながら、夏に見られるキノコを観察します。親子や大人を対象にした観察会。

●秋のキノコ観察会

9月2日(土) 10時～12時 定員15名
森の中を散策しながら、秋に見られるキノコを観察します。親子や大人を対象にした観察会。

●秋の紅葉を見に行こう

10月14日(土) 10時～12時 定員15名
色彩豊かな秋の塘路湖畔を散策して、色づく木々や水鳥などの秋の風物詩を観察します。

●ラムサール条約釧路会議 30周年記念

晩秋の湿原 野鳥観察会

10月28日(土) 10時～12時 定員15名
ヒシクイやオオハクチョウなどの渡り鳥が飛来する秋から冬にかけての野鳥の暮らしを観察します。

●初冬のキノコ講座

11月4日(土) 10時～12時 定員15名
夏と秋の観察会で見られたキノコについて講師が解説する座学講座です。(当回だけの参加も可)

●クリスマスリースを作ろう

11月25日(土) 13時～15時 定員15名
松ぼっくりや木の実などの自然の素材を使ってリースを作ります。

●草木染め体験講座

12月2日(土) 13時～15時 定員15名
塘路周辺で採取した草木から、自然の色素を煮出して、ハンカチやバンダナを染め上げる講座です。

●初冬の湿原 野鳥観察会

12月16日(土) 10時～12時 定員15名
初冬の塘路湖畔で、オオワシ・オジロワシなどの野鳥や塘路湖の氷の造形などを観察します。

●塘路湖の氷上を歩こう

1月13日(土) 10時～12時 定員10名
塘路湖の氷上を対岸まで歩きながら、氷上の現象や周辺の自然現象を楽しみます。スノーシュー使用。

●蝶の森スノーシューハイク

2月3日(土) 10時～12時 定員10名
雪のフィールドを散策しながら釧路湿原の自然や遺跡を観察します。スノーシュー使用。

●アイヌ刺繍講座

3月2日(土) 10時～12時 定員15名
塘路周辺のアイヌ民族について学び、アイヌ紋様を刺繍に取り入れたコースター・マタンブシ(鉢巻)を作る講座です。

※事前の申し込みが必要です。(駅通所の時代を除く)

※申込み先: 塘路湖エコミュージアムセンター

※定員に達し次第締切りとなります。

※定員は現時点での予定(変更の可能性あり)

◆日出・日入時間 2/15(6:20,16:53). 2/28(6:00,17:10). 3/14(5:36,17:27)

～編集後記～

■先月号で御神渡り(氷丘脈)に触れが「ここ数年発生していない」のではなく「ここ数年確認できていなかった」と訂正することにする。塘路湖は東西に長い。実は毎年どこかで出現していたのを見逃していただけではないか。見える範囲で確認できなかったら発生していないということにしていた可能性もあり、大いに反省すべき点はある。来シーズンは最低気温や気象条件を参考にして歩き回ることにする。御神渡り第一発見者となるように。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

インスタグラム

torokoemc

開館時間: 10:00～16:00

(4～10月: 17:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料